

令和3年度事業報告

社会福祉法人 千代の会

令和3年度事業報告

社会福祉法人千代の会

1. 総括

(1) 法人関係

令和2年以来続いている、新型コロナウイルス感染症については、3年度においても感染拡大が続いており、令和3年4月に入り変異株による感染第4波（4月～6月）が襲来し、最盛期には東京都をはじめとする10都道府県に対し第3回目の緊急事態宣言が出されましたが、7月～9月に実施予定の東京オリンピック・パラリンピック実施に向けて感染拡大防止に努めたところ、6月末にはやや下火になりましたが、7月中旬には、再び感染者が増加傾向（第5波）となったことから、第4回目の緊急事態（7月中旬～9月末）が宣言され、東京オリンピック・パラリンピックについては、感染拡大中ということもあり、やむなく無観客開催となりました。

その後、10月～年末にかけては、感染も低下傾向にありましたが、令和4年に入り、これまでのコロナより感染力の強い新たな変異株（オミクロン株）による感染者が全国で爆発的に増加し、2月に入り、連日、国内感染者が5万人を超える状況であるが、重症化率がこれまでのものより低い状況から、政府は全国に蔓延防止等重点措置を発令し、感染防止に努めてきました。

なお、コロナ対策で有効なワクチン接種については、令和3年2月より医療従事者から高齢者への優先接種が進み、次に一般接種を進め、本年度末には、2回以上接種された方は、全国民の80%以上となりました。（高齢者は90%以上）

みどりの風においても、優先接種により、入所者と職員に対し、令和3年5月から7月にかけて1・2回目の接種が終了し、その後、年末からブレークスルー感染が心配されることから、国の政策により、3回目の追加接種が推奨され、令和4年1月末から2月初めにかけて、3回目の追加接種を行いました。（全国の高齢者の3回目接種率＝3月末80%以上）

しかしながら、ワクチンを3回接種しても感染は完全に防げない状況から、入所者を新型コロナ感染症から守る為、面会については、本年度も殆どオンラインでの面会に制限させていただいている状況です。

なお、近隣施設において、新型コロナによるクラスター発生が散見しており、みどりの風で働く職員については、高齢者施設の職員として、日常生活を含め感染対策を徹底するよう呼びかけておりましたが、令和4年2月～3月にかけて、一部の職員の家庭でこれまでのものより強い感染力を持つ、オミクロン株による家庭内感染が発生しました。

そこで、的確な情報収集のもと、早期に該当職員の出勤停止措置等を行って、施設内への感染持ち込み防止に努めました。

なお、新型コロナ感染症防止のため、関係者の理解の下、施設内には職員以外の出入りを禁止させていただいていることから、各役員会等については、本年度も書面審議とさせていただきました。

長引くコロナ禍において、当法人が運営する各事業については、利用者を感染症から守ることを

優先して推進した結果、別添のとおり利用者減に陥ってしまいました。

この要因としては、コロナ禍の中、家族との面会禁止措置が続いている状況下、入所者のストレスも蓄積され、体調を崩す利用者も増えており、その結果、看取り期の入所者が増加し、亡くなる方が増えましたが、新規利用者による補充についても慎重な対応が求められたことから、思うような施設利用者の確保が出来なかったことによるものと思われま

す。また、地域における特養待機者の解消と合わせ法人経営の安定を目指し、特養2ユニット20床の増築工事が令和3年3月に完了し、本年度において早期開設を目指しましたが、介護員不足から8月に1ユニット10床のみの開設にとどまりました。

介護員不足の解消と合わせ、増築部開設に向けての人材確保を進めてきましたが、コロナ禍により全国的には失業者が増えている状況であり、介護職への転換者は殆ど見られない状況であり、介護人材の確保も厳しい状況でした。

そこで、増築部の開設に向けて不足する介護人材確保の為、本年度も技能実習生4名を受入れる予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大により海外からの渡航禁止措置が続き、年度内の受け入れが難しく、次年度早期の受け入れで対応することになりました。

次年度以降についても、技能実習生はもとより、特定技能者についても計画的に採用いたしたく考えております。

我が国は、災害が多い国です。近年では、2011年3月に発生した、東日本大震災や熊本地震、さらには、度重なる水害等により甚大な被害が発生し、多くの方が犠牲になっております。

令和元年10月10日から13日にかけて、日本列島を襲った台風19号による水害では、近隣の佐野市・足利市をはじめ広範囲被害が発生しました。

本町においても、舞木地区の一部が水路の溢水により冠水しました。

最終的には、千代田町全町に避難指示が出されましたが、みどりの風においては、幹部職員が待機の上、SNS及び行政等が発する情報を収集したうえで入所者の避難を行いました。今後は、さらに安全を期すため、早め早めの対応に心がける必要があります。

なお、本法人においては、前年度に増築した部分の屋上を一時避難場所として計画しましたが、避難場所に屋根がないことから、簡易な屋根の設置工事を実施したところです。

(2) 会議の開催

1. 各種会議関係報告

○今年度も新型コロナ対策の為、監査以外のすべての会議を書面審議とした。

(1) 監事監査……6月9日(水)令和2年度事業及び決算について監事監査実施

(2) 理事会

1) 第1回理事会(意見集約=5月10日)

・第1号議案:みどりの風増改築追加工事契約締結について(承認)

- ・第2号議案：技能実習生寄宿舎改修工事契約締結について（承認）
- 2）第2回理事会（意見集約＝6月9日）
 - ・第1号議案：千代の会評議員の推薦について（承認）
- 3）第3回理事会（意見集約＝6月16日）（承認）
 - ・第1号議案：令和2年度事業結果について（承認）
 - ・第2号議案：令和2年度収支決算について（承認）
 - ・第3号議案：決算検査結果について（承認）
 - ・第4号議案：令和3年度第一次補正予算について（承認）
 - ・第5号議案：千代の会定款変更について（承認）
 - ・第6号議案：次期評議員選任報告及び定時評議員会開催について（承認）
- 4）第4回理事会（意見集約＝6月28日）
 - ・第1号議案：新理事・監事選任報告について（承認）
 - ・第2号議案：新理事長選任について（承認）
- 5）第5回理事会（意見集約＝10月10日）
 - ・第1号議案：みどりの風避難場所設置工事实施について（承認）
 - ・第2号議案：千代の会寄宿舎改修第2期工事实施について（承認）
 - ・第3号議案：設備資金借入れについて（承認）
 - ・第4号議案：千代の会第二次補正予算について（承認）
- 6）第6回理事会（意見集約＝3月16日）
 - ・第1号議案：社会福祉法人千代の会職員給与規程の変更について（承認）
 - ・第2号議案：令和3年度社会福祉法人千代の会歳入歳出（第三次補正）予算について（承認）
 - ・第3号議案：令和4年度社会福祉法人千代の会事業計画（案）について（承認）
 - ・第4号議案：令和4年度社会福祉法人千代の会歳入歳出予算（案）について（承認）

（3） 評議員会

- 1）第1回評議員会（意見集約＝6月21日）
 - ・第1号議案：令和2年度事業結果について（承認）
 - ・第2号議案：令和2年度収支決算について（承認）
 - ・第3号議案：決算検査結果について（承認）
 - ・第4号議案：令和3年度第一次補正予算について（承認）
 - ・第5号議案：千代の会定款変更について（承認）
- 2）第2回評議員会（意見集約＝3月22日）
 - ・第1号議案：社会福祉法人千代の会職員給与規程の変更について（承認）
 - ・第2号議案：令和3年度社会福祉法人千代の会歳入歳出（第三次補正）予算について（承認）
 - ・第3号議案：令和4年度社会福祉法人千代の会事業計画（案）について（承認）
 - ・第4号議案：令和4年度社会福祉法人千代の会歳入歳出予算（案）について（承認）

(4) 職員の外部研修

コロナ禍の状況下、オンラインで研修に参加。

2. 職員人事・処遇について報告

(1) 職員の採用

・令和3年度においても職員不足が続いている中、増築部分の開設に向けて、関係職員（必要人数＝介護職員8名）の採用に努めたが、以下のとおり厳しい状況であった。

なお、本年度に予定された技能実習生（4名）及び特定技能者（3名）の採用については、国の新型コロナウイルス感染拡大防止策のため、本年度末までは、海外からの入国は禁止されておりますが、感染も下火になっていることから、次年度早期には入国制限が緩和される見込みとなっております。

○新規採用……（看護師1名、介護……正職員3名、準職員1名、介護臨時職員1名）

○退職者 ……ケアマネ1名、看護師1名、介護職員（正職員2名）

(2) 職員処遇

- ・6月30日付で正職員については、夏季賞与（1.7ヶ月）支払。臨時職員についても、勤務状況により、賞与として3万円～5万円支払い
- ・6月30日付で介護職員処遇改善加算金（介護職員のみ）及び特定処遇改善加算金を支払い
- ・12月15日付で正職員については、冬季賞与（2.0ヶ月）支払。臨時職員についても、勤務状況により、賞与として3万円～8万円支払い
- ・本年度も介護職員処遇改善加算・特定処遇改善加算を原資にして、職員の定期昇給を実施したが、加算の差額分及び本年度新設された処遇改善支援補助金（2・3月分）を一時金として3月31日付で支給した。

3. 事業関係の報告

○コロナ禍の中、令和3年度におけるみどりの風の各事業についての実績は、別表のとおりであった。

- 1) 特養及びショートステイ事業……新型コロナウイルス感染症拡大により、入所者の安全確保の観点から引続き家族等の直接面会は禁止しており、さらには、長引く外出制限により入所者のストレスは増加しており、重度化が進み、看取り期の方も多くなっていることから亡くなる方が頻発したが、新規入所（特にSS）については、コロナ禍から待機者（入所候補者）の調査等も慎重な対応が必要であり、空床ができてはすぐには入所できず、新規入所が追い付けない状況であった。

また、一昨年度増築された2ユニット（たんぼぼユニット・れんげユニット）計20床の早期開所を目指したが、コロナ禍と職員不足もあり、2ユニットの同時開所はできず、たんぼぼユニットのみを8月から開所した。

残った、れんげユニットについては、技能実習生及び特定技能者の入国を待ったうえで、開所する方向で進めていきます。

2) デイサービス事業……新型コロナウイルス感染症拡大の中、利用者の健康状況を最優先にサービスの提供を続けてきており、新規利用者の増にはならなかった。

また、本年1月には、所属の臨時職員1名について、家庭内感染が判明したことで、利用者及び職員への感染防止上から自主的に3日間の営業自粛を行いました。

なお、本年度における利用実績は、新型コロナの影響から、別表のとおり減少傾向であった。

3) 居宅介護支援事業……本年度においても、新型コロナ感染拡大の影響を受け、相談件数については、別表のとおり減少傾向であった。

4. 工事関係についての報告

1) 既存改修工事関係

- ・契約額……¥8,470,000円
- ・請負者……新和建設株式会社 代表 高野茂樹
- ・工期……令和3年5月1日～令和3年6月24日

2) 寄宿舍改修1期工事関係

- ・契約額……¥9,240,000円
- ・請負者……新和建設株式会社 代表 高野茂樹
- ・工期……令和3年5月21日～令和3年6月24日

3) 避難場所設置工事

- ・契約額……¥5,740,000円
- ・請負者……新和建設株式会社 代表 高野茂樹
- ・工期……令和4年1月12日～令和4年3月25日

4) みどりの風宿舎1階改修工事

- ・契約額……¥12,870,000円
- ・請負者……新和建設株式会社 代表 高野茂樹
- ・工期……令和3年10月28日～令和4年3月31日

5) その他修繕費関係

- ア. エアコン修繕……¥250,250円 (パナソニック) 5月分エアコン修理
- イ. " ……¥96,800円 (パナソニック) 6月分DS廊下エアコン修理
- ウ. 特殊浴槽修理……¥157,575円 (OG技研) 4月修理分
- エ. " ……¥536,800円 (OG技研) 9月修理分
- オ. 浄化槽修理 ……¥188,320円 (ライフクリーン) 8月ブロワー修理分

令和4年5月26日

令和3年度の主な事業報告

社会福祉法人 千代の会

社会福祉事業

<特別養護老人ホーム (ユニット) 関係>

1 施設での日常生活において、各ユニットが入居者様へのADL把握、向上、低下の防止(維持)を図り、サービスの質の向上、又、職員の資質向上を目標に日々取り組んだ。

① 移動・移乗の自立向上・支援

・日常生活における基本的な動作において、本人の体調を考慮した上で自立向上を支援した。(機械浴から一般浴への向上)

また、入居者様の重度化が進む中、入浴については個浴から機械浴への安易な移行は行わず、入居者様の身体的負担、コスト面、業務時間の調整など様々な面から考慮し、可能な限り個浴での対応に努めた。

② 食事の自立向上・支援

・入居者様の嚥下状態を見極め、把握し、それぞれに適した食事形態を検討して提供することで、自力摂取、咀嚼を促すことへの支援に努めた。

・栄養マネジメントの観点から、個々の状態に合わせ、身体の維持・向上、体重コントロールに努めた。

③ 排泄の自立向上・支援

・医務との連携により、身体的なリスクを伴わないよう、個々に合った排便コントロールに努めた。

④ その他の生活動作に関する自立向上・支援

・普段の生活動作の中から自身で行えるものを日々見極め、把握することで、出来る部分を自身で行えるよう促し、その日の体調等を考慮した上で一部介助するよう支援した。

・整容や着脱といった日常生活の中で必要とされる細やかな動作まで、本人の負担を考慮し、自立を促す支援から、一部介助又は全介助を必要とされる支援まで見極めて実践できた。

・誕生日など特別な行事や日常から外出や食行事等を各ユニットで企画することで、入居者様の生活に変化(アクセント)をつけられた。

⑤ 環境整備に関する取り組み・支援

・昨年に引き続きコロナウイルス感染拡大の影響を受け、職員のシフト、新規利用者様の受け入れ、調査、面会、外出、通院など様々な面に変化が生じたことから臨機応変に取り組むケースが多かった。

特に職員のシフトは時間外や夜勤などの負担も多く、夏季に予定していた技能実習生の受け入れも延期となったことで人手不足となり、最後のユニット「れんげ」の開放が大幅に遅れ、それに比例して稼働も伸び悩む結果となっている。

【令和3年度 月別稼働率】※ () 内はショートステイ

4月	93.80%	(110.83%)
5月	90.77%	(97.58%)
6月	89.00%	(100.83%)
7月	88.06%	(101.61%)
8月	84.95%	(46.77%)
9月	88.67%	(69.58%)
10月	89.03%	(95.97%)
11月	87.44%	(125.42%)
12月	86.34%	(110.48%)
1月	86.24%	(143.95%)
2月	87.56%	(192.86%)
3月	84.30%	(188.31%)

コロナウイルスの影響は徐々に緩和傾向ではあるものの昨年同様、面会制限や禁止により調査の進行に支障が出る、検査に時間がかかる、施設側の受け入れが新規となるとより慎重になるなどの円滑に行えない状況は継続している。

また、日常生活継続支援加算算定から介護度4又は5を優先的に入所させる方針となった為、重度な病気を抱えている方や治療を受けている方が対象となるケースが増加、スキル向上や指導など人材育成できる職員が不足していることが課題。

・外国人技能実習生の受け入れ

令和3年1月から2名、令和4年5月には4名受け入れが済んでいる。

育成が終了する6～12ヶ月後には今までの職員不足が改善される見込み。

⑥ 職員の資質向上と施設内研修の充実

・コロナウイルスの影響で殆どの研修は中止又は延期となっている。

(一部行ったものはZoomなどオンラインセミナーで参加)

2 社会的自立向上

① 入居者様の職員担当制の充実

- ・コロナ禍により原則面会が行えなくなった為、普段の連絡が大きな役割を果たす形となった。各ユニットで、より入居者様の状態が御家族様に伝わるように、電話又はLINE 電話による連絡を始め、ホームページの活用、写真や手紙などの送付を各自工夫して行った。
- ・重要な連絡に関しては、御家族様とみどりの風で混乱を避ける為、管理者又は各リーダーにて行った。

② 地域社会との交流

- ・ほぼ全ての交流がコロナ禍により中止となった。(訪問の床屋や歯医者など一部を除く)

令和 3 年度 事業報告書

社会福祉法人 千代の会

通所介護事業

令和 3 年度事業計画	結果報告
<p>I 通所介護事業基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 介護保険法の趣旨に従い、利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるようサービスを提供します。 2. 必要な日常生活上の介助および機能訓練・生活リハビリ等を行う事により、利用者の社会的孤立感の解消および心身機能の維持ならびに、利用者家族の身体的および精神的負担の軽減を図ります。 3. 家庭に引きこもりがちな高齢者が通所を利用することにより、生活に“ハリ”“リズム”をつくり精神的安定を図れるように努めます。 4. ゆったりとした安全な環境をつくり、住み慣れた地域で家庭生活を継続できるようにします。 5. 地域とのつながり、家族とのふれあい、ボランティアの受け入れにより、地域に開かれたデイサービスを目指します。 	<p>I 通所介護事業基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ケアプランをもとに通所介護計画書を作成し個々の利用者の方に合わせた入浴、排泄、食事のサービスを提供することができた。できることは自分で行ってもらうなど自立を促すことに努めることができた。 2. コロナ禍の中で外出行事は中止せざるをえなかったが、上記の通所介護計画書を基にレクリエーションや体操を通して身体を動かすことによって心身機能の維持・向上に努めることができた。また、ニーズに合わせて夕食の提供や長時間のデイ利用が難しい方などは体調に合わせて短時間の利用などの柔軟なサービス提供が行えた。 3. 定期的にデイサービスをご利用してもらい生活リズムを作っていただくことができた。昨年に引き続き外出行事など中止。畑での園芸作業やそこで収穫した野菜などを使って調理のレクリエーションなどを行えた。 4. 生活導線を広くとるなど安全面に配慮できた。 5. コロナ禍のためボランティアの受け入れなし。

<p>II 年間目標</p> <p>1. 居宅介護支援事業所の居宅サービス計画に沿って、通所介護計画を作成しサービス提供します。</p> <p>2. 認知症高齢者・高齢者の特徴を理解し行動観察を行い、利用者の望むケアの提供をします。</p>	<p>II 年間目標</p> <p>1. ご利用にあたり、居宅サービス計画書に基づいて個々の通所介護計画を作成してサービスを行う事に努めた。また、定期的に計画書の見直しができた。</p> <p>2. 利用者の特徴に応じて通所介護計画書の変更などを行う事ができた。</p>
<p>III 個別ケアの取り組み</p> <p>利用者個々の望みや課題を正確に把握し、通所サービス計画を立案、実行、成果を感じて頂くことで、通所することによる充実感や喜びを感じていただけるようにします。</p>	<p>III 個別ケアの取り組み</p> <p>個々に通所介護計画を作成し、課題などを掘り下げてサービスに活かすことができた。また定期的に計画を評価し、見直すことでニーズに対するサービスを概ね提供できた。工作、調理、裁縫、生活リハビリなど目標をもって行うことで充実感を持てた。</p>
<p>IV 家族との信頼関係の構築</p> <p>在宅サービスは御家族にとっても心身にゆとりの持てる時間を提供する側面もあることから、安心して利用者を送り出せるよう、御家族に対しても常日頃からコミュニケーションをとり、事業所と利用者とその家族との良好な信頼関係を築き、お互いに協力し合える環境を作ります。</p>	<p>IV 家族との信頼関係の構築</p> <p>送迎の際や連絡帳を通してコミュニケーションをとったりすることができた。月に1回のデイサービスの新聞の配布等でデイサービスでの様子の報告に努めることが出来た。</p> <p>適時、通所介護計画の評価も報告し、見直すことができた。</p>
<p>V 関連機関との連携</p> <p>介護支援専門員、地域の関係機関との連携・協力を努めます。また、サービス提供場面で得られる利用者や御家族の情報を居宅支援事業所へ提供し、情報の共有をします。</p> <p>特別養護老人ホーム併設のユニットとの連携・協力の強化を一層図り、事業所として地域に安心感を与え、信頼に努めます。</p>	<p>V 関連機関との連携</p> <p>居宅介護事業所など毎月ご利用者のご様子をモニタリングし報告ができた。また、体調の変化など家族や居宅介護事業所に報告ができた。</p>
<p>VI 職員の資質向上</p> <p>サービスの向上を図るため、施設内研修を実施しケアの基本・専門的知識を修得します。専門性の高い研修については、外部機関が実施する研修に参加し最新情報を修得します。また、毎日のミーティングと毎月の通所介護会議では、行事内容・業務を職員全員に周知します。</p>	<p>VI 職員の資質向上</p> <p>コロナ禍のため研修自体が減少。専らリモート研修に移行し業務の合間に参加などできた。</p> <p>また、毎日の朝のミーティング・申し送りノートで情報の共有が図れた。</p>

<p>VII 事業活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. デイサービスの稼働率70%（一日平均17.5名）を目指します。 2. 新規利用者獲得のため近隣へパンフレットや新聞を活用し、広報活動を行います。 3. 居宅支援事業所や自立支援センターとの連携強化に努めます。 	<p>VII 事業活動</p> <p>1.2.3</p> <p>年間延べ利用者数 4,258 名（前年度比 -351 名）、一日の平均利用者数 13.7 名（前年度比 -1.1 名）。稼働率 54.8%（前年度比-4.4%）。</p> <p>前年度に比べ減少。新規利用者の減少や体調不良による入院や休みが影響。また1月には職員のコロナ感染により3日間の営業自粛もあった。</p> <p>引き続きパンフレットやホームページを活用して広報活動やケアマネージャーとの連携を図る。</p>
<p>VIII 年間行事計画</p>	<p>VIII 年間行事計画</p> <p>当初の計画通り概ね実施できた。</p>
<p>IX 施設内研修</p>	<p>IX 施設内研修</p> <p>上記VIに準じる。</p>

居宅介護支援部門令和3年度事業報告

居宅介護支援事業における、令和3年度の利用実績については、「居宅介護支援件数」において、下記のとおり、延べ利用者数で322件(対前年度-50件)、「居宅介護予防件数」では、延べ利用者数51件(対前年度-19件)であった。

減少の要因としては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う「緊急事態宣言・蔓延防止等重点措置」等により、新規の利用相談が減少したものと思われます。

また、歳入面においても、10月利用分から本年3月利用分までの間、事業所集中減算に該当したことにより、居宅介護支援費も20%の減少となってしまいました。

○令和3年度居宅介護支援事業実績表

月	利用実績	月	利用実績
4月	要介護28名、要支援4名	10月	要介護28名、要支援4名
5月	要介護26名、要支援4名	11月	要介護27名、要支援4名
6月	要介護25名、要支援4名	12月	要介護28名、要支援4名
7月	要介護27名、要支援4名	1月	要介護28名、要支援5名
8月	要介護25名、要支援4名	2月	要介護28名、要支援5名
9月	要介護26名、要支援4名	3月	要介護26名、要支援5名

① 要介護合計322件 要支援合計51件

厨房 令和3年度事業報告

項目	実施	業者	備考
防除作業	年1回	伊藤ビル管理事務所	9月
水質検査	年2回	伊藤ビル管理事務所	6月・12月
カートリッジ交換	4月	ホシザキ	スチームコンベクションオープンのカートリッジ交換
非常食購入	随時	雄峯食品 ヘルシーフード	期限切れによる入替え (入替え時はニッコトラスト買取で消費)
食品購入 (飲料、トロミ剤等)	随時	雄峯食品 ヘルシーフード 市川園	ユニット・デイ利用者用飲料 トロミ剤
通常外の食事代	年3回	ニッコトラスト	おせち料理・春御膳・敬老御膳
食器購入	随時	信濃化学	
消耗品購入	毎月	島岡商店 三洋商事 クリバ	手袋・ペーパータオル・洗剤等
修繕	スチームコンベクションオープン 7月29日	ホシザキ	水位電極の不良
冷蔵庫 保守契約	年間	ホシザキ	保守点検を実施
給食会議	毎月		相談室にて開催
食品自主検査	年2回	ニッコトラスト	9月・12月
千代田町栄養・食生活改善 業務推進協議会	年6回		保健センターにて開催
老施協 栄養調理研究部 会	随時		文書、電話にて

厨房 令和3年度事業報告

食行事

月	行事	時間帯	内容
4	お花見	昼	春御膳(重箱)
5	こどもの日	おやつ	おやき(こいのぼり)
7	七夕	昼	七夕献立(そうめん)
	土用丑の日	昼	うなぎちらし
	企画	おやつ	すいか割り&七夕
8	盆	おやつ	おはぎ
	企画	おやつ	ポテトチップス&飲料バイキング
9	敬老の日	昼	敬老御膳(重箱)
10	企画	昼	パンバイキング
11	秋の味覚	昼	秋刀魚の塩焼き
		おやつ	おはぎ
12	冬至	昼	かぼちゃ料理
	クリスマス	昼	クリスマスメニュー
	クリスマス	おやつ	クリスマスケーキ
	餅つき	中止	餅つき 鏡餅作り
	大晦日	昼	年越しそば
1	元旦	昼	おせち料理(重箱)
	七草粥	朝	七草粥
	鏡開き	おやつ	おしるこ
2	節分	昼	恵方巻
	初午	昼	しもつかれ
	企画	中止	豆まき
	バレンタイン	おやつ	バレンタインおやつ
3	ひな祭り	昼	ひなまつり献立
	ひな祭り	おやつ	ひなあられ
	春彼岸	おやつ	おはぎ

令和3年度事業別利用実績(R3年4月～R4年3月)

1. 特養事業

2020年度					2021年度					前年対比(%)
月	日数	定数	利用者数	稼働率	月	日数	定数	利用者数	稼働率	
4	30	50	1,470	98.00	4	30	50	1,407	93.80	-4.20
5	31	50	1,519	98.00	5	31	50	1,407	90.77	-7.23
6	30	50	1,470	98.00	6	30	50	1,335	89.00	-9.00
7	31	50	1,483	95.68	7	31	50	1,365	88.06	-7.62
8	31	50	1,425	91.94	8	31	60	1,580	84.95	-6.99
9	30	50	1,385	92.33	9	30	60	1,596	88.67	-3.66
10	31	50	1,519	98.00	10	31	60	1,656	89.03	-8.97
11	30	50	1,422	94.80	11	30	60	1,574	87.44	-7.36
12	31	50	1,389	89.61	12	31	60	1,606	86.34	-3.27
1	31	50	1,397	90.13	1	31	60	1,604	86.24	-3.89
2	28	50	1,288	92.00	2	28	60	1,471	87.56	-4.44
3	31	50	1,460	94.19	3	31	60	1,568	84.30	-9.89
計	365	600	17,227	94.39	計	365	50~60	18,169	87.86	-6.53

2. 短期入所事業

2020年度					2021年度					前年対比(%)
月	日数	定数	利用者数	稼働率	月	日数	定数	利用者数	稼働率	
4	30	5	140	93.33	4	30	8	266	110.83	17.50
5	31	5	130	83.87	5	31	8	242	97.58	13.71
6	30	5	119	79.33	6	30	8	242	100.83	21.50
7	31	8	184	74.19	7	31	8	252	101.61	27.42
8	31	8	216	87.10	8	31	8	116	46.77	-40.33
9	30	8	218	90.83	9	30	8	167	69.58	-21.25
10	31	8	242	97.58	10	31	8	238	95.97	-1.61
11	30	8	254	105.83	11	30	8	301	125.42	19.59
12	31	8	261	105.24	12	31	8	274	110.48	5.24
1	31	8	279	112.50	1	31	8	357	143.95	31.45
2	28	8	267	119.20	2	28	8	432	192.86	73.66
3	31	8	314	126.61	3	31	8	467	188.31	61.70
計	365	87	2,624	99.13	計	365	8	3,354	114.86	15.73
R2特養全体実績				95.68	R3特養全体実績				91.20	-4.48

3. 通所介護事業

2020年度					2021年度					前年対比(%)
月	日数	定数	利用者数	稼働率	月	日数	定数	利用者数	稼働率	
4	26	25	358	55.08	4	26	25	348	53.54	-1.54
5	26	25	399	61.38	5	26	25	359	55.23	-6.15
6	26	25	410	63.08	6	26	25	363	55.85	-7.23
7	26	25	403	62.00	7	27	25	361	53.48	-8.52
8	27	25	378	56.00	8	26	25	334	51.38	-4.62
9	26	25	399	61.38	9	26	25	360	55.38	-6.00
10	26	25	418	64.31	10	26	25	353	54.31	-10.00
11	26	25	370	56.92	11	26	25	376	57.85	0.93
12	27	25	408	60.44	12	27	25	403	59.70	-0.74
1	24	25	354	59.00	1	24	25	329	54.83	-4.17
2	24	25	337	56.17	2	24	25	316	52.67	-3.50
3	27	25	375	55.56	3	27	25	356	52.74	-2.82
計	311	25	4,609	59.28	計	311	25	4,258	54.77	-4.51

4. 居宅介護支援事業

2020年度					2021年度					
月	ケアプラン作成		合計	備考	月	ケアプラン作成		合計	対前年比	
	要支援	要介護				要支援	要介護		件数	比率(%)
4	7	30	37		4	4	28	32	-5	86.49
5	4	33	37		5	4	26	30	-7	81.08
6	6	32	38		6	4	25	29	-9	76.32
7	6	32	38		7	4	27	31	-7	81.58
8	7	32	39		8	4	25	29	-10	74.36
9	7	32	39		9	4	26	30	-9	76.92
10	7	31	38		10	4	28	32	-6	84.21
11	6	32	38		11	4	27	31	-7	81.58
12	7	31	38		12	4	28	32	-6	84.21
1	5	31	36		1	5	28	33	-3	91.67
2	4	30	34		2	5	28	33	-1	97.06
3	4	30	34		3	5	26	31	-3	91.18
計	70	376	446		計	51	322	373	-73	83.63